

新規就農者(自営) Uターン 1

氏名	紺野 満さん (30才)
家族構成	両親、祖母、弟
市町村	福島市
ホームページ	
就農形態	Uターン



1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : りんご 80a、もも 80a、さくらんぼ 50a、ぶどう 20a、梨 15a
- (2) 労働力 : 本人、父(60代)、母(50代)、臨時雇用(2人) 延べ400日
- (3) 販売方法 : 全種: 自家販売(8~9割)、JA販売(1~2割)
- (4) 営農上の特記事項 : 観光果樹園として直売所を運営している。

2 プロフィール

- ・昭和54年 福島市生まれ
- ・平成14年 大学経済学部卒業
- ・平成15年 福島県果樹試験場講習生
- ・平成16年 果樹試験場臨時労務員
- ・平成17年 就農

3 就農の動機

学生時代から自家の仕事は手伝っていた。直接消費者に自分で作ったものを売ることができるといふ点が、他の仕事にない魅力的な部分だと感じたため。

4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由
果樹試験場で多くの農業関係者との出会い、特に同年代の活気のある農業後継者が地域にたくさんいることを知り、大変よい環境の中で仕事ができそうだと感じたこと。
- (2) 就農するまでの経過と年数
2 のプロフィールに同じ。
- (3) 技術の習得方法
福島県果樹試験場での研修により栽培技術を習得した。
- (4) 過去の農業従事経験
なし
- (5) 農地の確保方法
全て自家の農地
- (6) 資金の確保方法
ア 自己資金総額 100万円
イ 借入れ
経営開始支援資金 60万円

- (7) 住宅の確保方法
 - ア 持ち家
- (8) 地域とのつきあい・所属団体など
 - ア 平野農業後継者協議会、福島市農業後継者連絡協議会
 - イ 積極的に各種会合や地域の奉仕活動に参加するようにしている。
- (9) 生活を支えた補助的収入
- (10) その他（努力を要したことなど）



5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

- (1) 利用した支援制度：
- (2) 役に立った支援：

6 就農しての感想

- (1) 良かったと思うことなど
 - 良い作物が取れ、それをお客さんに評価してもらえたとき。
- (2) 苦労したことなど
 - 消費者の果物離れが進んでいるような気がしている。新たな顧客の開拓がなかなか難しい。

7 今後の目標・方針

経営規模を拡大するよりも、質にこだわり、無駄なく販売していけるよう消費者へのアプローチの仕方を工夫した経営をしていきたい。

8 新規就農を目指す人へのアドバイス

消費者の要求する農産物へのハードルは高くなってきていると思うが、価格競争に踊らされずに、良いものを作り、自分なりの付加価値を与えて売れる経営をしてもらいたい。